



里山に育む生きものたち

51 イソヒヨドリ (スズメ目 ヒタキ科)

学名 *Monticola solitarius*

写真/川上 仁司
文/山口 萬壽美

▼バードウォッチングを楽しむ
初夏は早緑の季節。みずみずしい緑に野山はおおわれて、香る風に人々の気力は充実し、晴明な天気を感じて夏鳥たちもまた心楽しげに歌います。

- ・鳥のおもしろ観察会のコツ
- 1 空を眺めましょう。
- 2 木の梢や山道、林道などを観察しましょう。
- 3 鳥の地鳴きや囀りに親しみましょう。
- 4 草地や河川敷、作物の収穫後の水田や畑なども調べましょう。
- 5 自分の好きな鳥を見つけましょう。

▼形態

イソヒヨドリは、全長約24cmで、ムクドリ位の大きさです。雌は頭部と背から上尾筒までの上面、喉から胸が青灰色であり、翼と尾は黒っぽく、腹部が赤褐色であるのが特徴です。雌は全体が暗黄色で、下面には暗褐色の細かい斑が見られます。また、雄の若鳥は体の黄色の部分に褐色の黄斑があり、赤栗色の部分にはバフ色(淡い黄褐色)の黄斑があるため、体の色は鮮やかではありません。

▼分布

北アメリカ、ヨーロッパ南部、中東、ヒマラヤ、中国南部、朝鮮半島、日本などで見られます。日本では、ほぼ全

国の海岸や嶋に分布し、本州以南では、留鳥として年中見られます。

▼主な特徴

日本では、主として岩や断崖のある海岸や島に住む留鳥ですが、北海道のものは冬期に本州などへ移動します。普段は堤防や木の太い枝、電柱、屋根などでも見られます。最近では、水戸市内のビル(高さ約20メートル位の屋上で、この鳥の囀りを聞くことがあります。繁殖期の晴れた5月、静かな繁華街の朝にこの鳥が大きな良い声で囀っている姿は感動的な風景です。

本県で見られる鳥のうち、レッドデータブック(絶滅のおそれのある野生動物についての資料集)に67種が指定されており、この鳥も「希少種」として特別保護の対象となっております。

▼観察メモ

飛鳥や佐渡ヶ島を訪ねた折、港で停泊中の船の甲板などで、この鳥の雄が「ホイイ、ピーチヨイチヨイ、ツツピーコー」と良い声で囀っていた姿を見かけました。本県でも那珂湊海岸(写真)や、潤沼・広浦地区の岸辺、ビルの屋上などで、この鳥の美しい姿を眺めながら囀りをゆつくりと楽しめます。この鳥に会いたい方は、まず岩礁や屋上などで青っぽい鳥を探るか、鳴き声を聞くことにしましょう。

編集・発行 / 茨城町 町長公室 秘書広聴課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748
ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp

茨城町の人口と世帯数

- ※カッコ内は前月比です。
(住民基本台帳 平成28年5月末現在)
- ◆総人口 33,578人 (-11)
男 16,806人 (-12)、女 16,772人 (+1)
- ◆世帯数 12,936世帯

茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

再生紙を使用しています



※ 印刷に優しい大豆インクを使用しています